



2026
April

2026年4月



統計数理研究所（右奥の八重桜は広尾から移植）

CONTENS

- 02 1. 今月のトピックス
- 02 2. 各プロジェクトからのお知らせ
- データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト
 - リスク基盤数理プロジェクト
 - データ駆動型リスク解析のための計算数理プロジェクト
 - 環境情報に関する統計解析手法開発プロジェクト
 - 資源管理リスク分析プロジェクト
 - 地震予測解析プロジェクト
 - 時空間データ解析プロジェクト
- 03 3. センター事務局からのお知らせ

1. 今月のトピックス

3月24日に環境情報に対する統計解析手法開発プロジェクトによる「International Symposium on Advanced Environmental Statistics」が統計数理研究所にて開催されました。

7月にリスク解析戦略研究センターシンポジウムを行う予定です。

2. 各プロジェクトからのお知らせ

■ データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト

●2月26日に公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムの運営委員会を開催しました。

(所内責任者:南和宏教授)

●3月18日にSSDSE(教育用標準データセット)を用いたR言語による分析演習」をテーマにしたワークショップを統計センター(新宿)にて開催しました。

https://jmodc.org/event/ssdse_no2.php

(所内責任者:南和宏教授)

●9月開催の統計関連学会連合大会に2件(コンソーシアム、国際マイクロ)の企画セッションを提案予定です。

(所内責任者:南和宏教授)

●公的統計マイクロデータ研究コンソーシアム NewsLetter 第9号を3月下旬に発行しました。

(所内責任者:南和宏教授)

●「公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム2025」の講演のうち、2件の講演動画を、3月下旬～4月上旬にコンソーシアム公式ウェブサイトに掲載予定です。

① 公的統計利活用の最新の話題(総務省統計局 統計データ利活用センター 羽鳥記章氏)

② リモートアクセスをめぐる諸課題(総務省統計局 小松聖氏)

(所内責任者:南和宏教授)

■ リスク基盤数理プロジェクト

●9月28日～30日に統計数理研究所、ウルム大学、東京大学、東北大学の4つの機関による研究集会を開催予定です。

(所内責任者:栗木哲 特任教授)

■ データ駆動型リスク解析のための計算数理プロジェクト

●2月16日～17日に第2回計算技術による学際的統計解析ワークショップを統計数理研究所で開催しました。

<http://okuno.net/events/ISACT2026>

(所内責任者:奥野彰文 准教授)

●Optimization に論文「Exact penalization at d -stationary points of cardinality- or rank-constrained problem」が採択されました。

(所内責任者:柳下翔太郎 特任助教)

■ 環境情報に対する統計解析手法開発プロジェクト

●3月24日に公募型共同利用国際共同研究集会「International Symposium on Advanced Environmental Statistics 2026」を統計数理研究所にて開催しました。当日は海外の招待講演者6名、国内の招待講演者4名による講演が行われました。広範囲の環境課題への課題解決に向けた科学的な手法の発表があり、これによりさらなる本分野への統計科学の貢献の国際的な連携が進展したと思われます。



シンポジウムの様子
(所内責任者: 金藤 浩司 教授)

■ 資源管理リスク分析プロジェクト

- 2月12～13日に AgFReM インターンシップセミナーを統計数理研究所にて開催しました。



セミナーの様子
(所内責任者: 吉本 敦 教授)

- 2月15～16日に FORMATH を鹿児島大学にて開催しました。



セミナーの様子
(所内責任者: 吉本 敦 教授)

■ 地震予測解析プロジェクト

- 3月16日～17日に2025年度ISM Star-E 研究集会「長期から即時までの時空間地震予測とモニタリングの新展開」を開催しました。
(所内責任者: 庄 建倉 教授)
- 3月3日～30日にニュージーランドSRAのDavid Harte 先生が来所しました。
(所内責任者: 庄 建倉 教授)
- Seismological Research Letters に論文「Interplay Between Slow - Slip Events and Seismicity in the Hikurangi Subduction Zone Revealed by a New High - Resolution Catalog.」が掲載されました。
<https://doi.org/10.1785/0220250196>
(所内責任者: 庄 建倉 教授)
- Earth Planets Space に論文「Seismicity insights and forecasting with Delaunay-based hierarchical models」が掲載されました。
<https://doi.org/10.1186/s40623-025-02351-1>
(所内責任者: 庄 建倉 教授)
- Bulletin of Geophysics and Oceanography に論文「NESTORE algorithm: a machine learning approach for strong aftershock forecasting. A comparison of California, Italy, western Slovenia, Greece, and Japan results」が掲載されました。
<https://bgo.ogs.it/nestore-algorithm-machine-learning-approach-strong-aftershock-forecasting-comparison-california>
(所内責任者: 庄 建倉 教授)
- Tectonophysics に論文「Yearly-scale deep crustal fluid transfer implied by gravity changes from in-situ observations around the 2021 Yangbi MS6.4 earthquake, China」が掲載されました。
<https://doi.org/10.1016/j.tecto.2026.231155>
(所内責任者: 庄 建倉 教授)

- Seismological Research Letters に論文「A Full Space-Time-Magnitude Extreme - Event Distribution for an ETAS Cluster.」が掲載されました。

<https://doi.org/10.1785/0220250351>

(所内責任者: 庄建倉 教授)

■ 時空間データ解析プロジェクト

- 1月に空間モデリング用の R パッケージ spCF を公開しました。

<https://cran.rproject.org/web/packages/spCF/index.html>

(所内責任者: 村上大輔 准教授)

- 2月6日にリーディング DAT L-S 講座「時空間統計モデル: 基礎から最近の発展まで」をオンライン開催しました。

(所内責任者: 村上大輔 准教授)

- 8月8日～10日に実施される国際会議 EcoSta2026 において、企画セッション「Spatio-temporal modeling and applications」を提案予定です。

(所内責任者: 村上大輔 准教授)

- 10月末にミニシンポジウムを統数研において慶應大の菅澤翔之助先生と共催で開催予定です。

(所内責任者: 村上大輔 准教授)

3. センター事務局からのお知らせ

- 3月のリスクセンター運営会議の議題

- ・ 本年度予算の執行状況の確認および返納の報告
- ・ 来年度予算の状況報告
- ・ 客員教員および外来研究員の申請について
- ・ 各プロジェクトからの報告
- ・ プロジェクトリーダーの変更について
- ・ その他

次回の会議は2026年5月13日(水)11:00～の予定です。

2026/3/31